

名古屋市東区 在宅医療連携拠点推進事業 中間活動報告

名古屋市東区医師会
事務局 大幸砂田橋クリニック

構成

- 地域概要
- 地域の人口ピラミッド
- 地域の医療・介護資源マップ
- 地域の課題
- 平成25年度の活動評価
- 平成26年度の活動評価指標と10年後の将来ビジョン
- 活動ロードマップ
- 担当窓口について

地域概要

○活動エリア

名古屋市東区、千種区、守山区、北区

○人口、世帯数、高齢化率(平成26年3月時点)

人口：総数572,855人(男278,480人、女294,375人)

世帯数：264,435世帯

高齢化率：22.4%

○地域の特性(2014年3月実施アンケート結果 対象：活動エリア区域)

病院・診療所の在宅医療実施状況(回答率：39.5%)

在宅医療に取り組んでいる病院・診療所の比率：44%

以下、在宅医療に取り組んでいる機関のみ回答

平均在宅患者数：30名

2014年2月における夜間・休日の平均電話対応数：4件/月

2014年2月における夜間・休日の平均緊急往診件数：2件/月

2014年2月における平均看取り件数：0.4件/月

訪問看護ステーションの訪問看護実施状況(回答率：43.4%)

24時間加算を算定しているステーションの比率：85%

平均利用者数：223名 2014年2月における平均訪問件数：552件/月

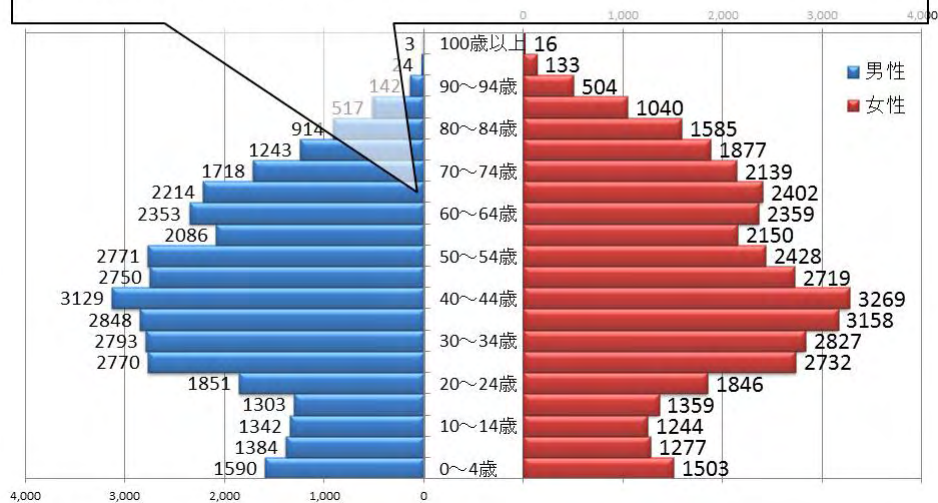
2014年2月における夜間・休日の平均電話対応数：7件/月

2014年2月における夜間・休日の平均緊急訪問件数：4件/月

2014年2月における平均看取り件数：0.9件/月

名古屋市東区の人口ピラミッド

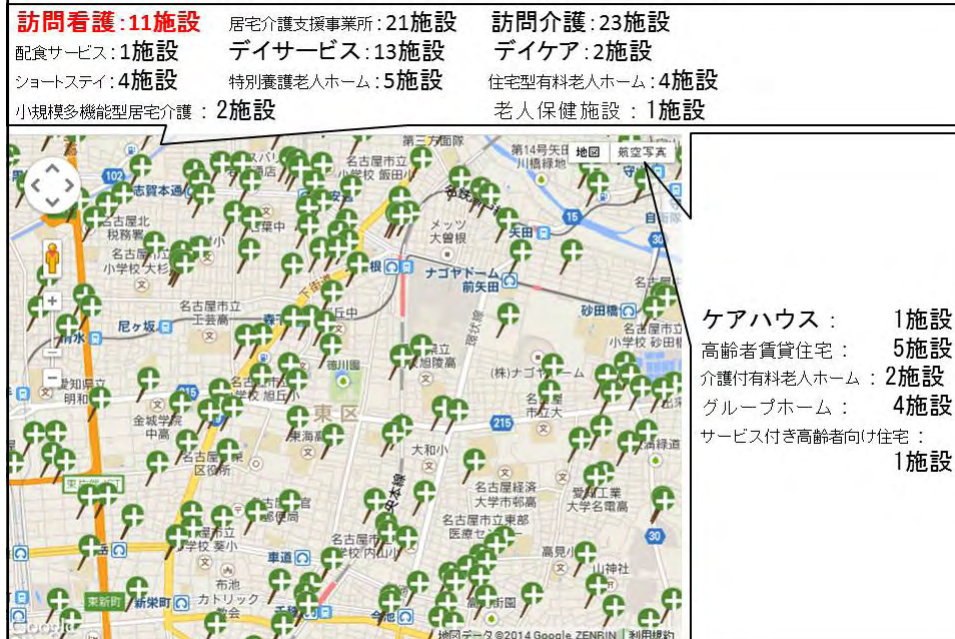
- ・典型的なつりがね型の人口分布といえ、出生率、死亡率がともに低い。
- ・人口のピークは40代であり、この世代が75歳を迎える2045年が高齢化社会のピークとなることが推測される。
- ・一般的に懸念されている団塊世代の高齢化についてはそれほど顕著ではないことが予測されるが、早期の地域包括ケアシステムの構築が求められる。



名古屋市東区の医療マップ



名古屋市東区の介護マップ



地域の課題と解決策

指定事業	課題	解決策
在宅医療従事者の負担軽減の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医による在宅医療参画に障壁がある。 ・24時間365日体制に大きな負担が伴う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医の在宅医療参画支援体制の整備 ・24時間365日体制における負担低減 ・在宅療養支援アセスメントシステムによる病院と在宅チームの連携
多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種が集まり、連携について検討する場がない。 ・連携方式が事業所毎に異なる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種の代表が集う作業部会を開催する ・地域における連携フォーマットの作成
入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期病院の退院調整に負担が集中している。 ・生活支援を提供するサービスが地域に少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期病院とアセスメント病院の連携による急性期治療と在宅導入準備の機能分担 ・生活支援サービスのニーズ調査
効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の方法が多様多様である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT情報共有システムの導入と活用
在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が在宅医療に係る情報を得る機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスメディアとの連携による在宅医療啓発 ・在宅医療啓発コンテンツの作成

平成25年度の活動評価

指定事業	平成25年度の活動評価指標	達成度
在宅医療従事者の負担軽減の支援	東区、北区、千種区、守山区の地域住民のデモグラフィックデータおよび医療・介護資源に関する情報を100%収集	100%実施済み
	在宅療養支援アセスメントシステムについての説明: 当該地域のシステム連携候補病院の80%を目標に実施	5月までに実施完了予定。 遅延理由: 打ち合わせ資料作成の遅延。
多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	第1回カンファレンスの開催 【目標参加者数】 参加者: 125名 うち、行政担当者: 5名 医師: 15名 歯科医師: 15名 薬剤師: 15名 看護師: 15名 理学療法士: 15名 栄養士: 15名 MSW: 15名 介護支援専門員: 15名	計画変更につき、推進協議会および作業部会を開催することとなった。 これに合わせて、各機関および団体と開催に向けて調整中。
効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	情報共有システム導入後、1拠点の強化型連携にてテスト運用実施。 利用医師数: 6名 利用多職種: 20名 利用病院数: 3施設 登録患者数: 100名	計画を変更し、他の拠点事業所と合同のシステムを運用していくこととなった。 4/9: システムベンダー決定 5月中旬以降: 導入開始

平成26年度の活動評価指標と10年後の将来ビジョン

平成37年～

- ・通院から在宅まで60%のかかりつけ医が対応
- ・市内全域でアセスメント連携の利用が可能
- ・ICTシステムを活用し、医師をはじめ在宅スタッフ、病院、患者・家族が情報を共有
- ・在宅医療データベースに基づいた解析や、ガイドライン作成に向けた検討が進められている

平成27年3月

- ・診療所の在宅医療参画率: 50%以上
- ・在宅医療と病院医療のアセスメント連携: 事業範囲内で5か所
- ・多職種の連携方式: 事業範囲内でInformation and Communication Technology (ICT)システムを含めた統一された方式を活用
- ・急性期病院とアセスメント病院の連携による在宅療養移行体制: テスト運用によって数例が実施

現在

- ・診療所の在宅医療参画率: 44%
- ・在宅医療と病院医療のアセスメント連携: 市内3か所
- ・多職種の連携方式: 地域や事業所によって多種多様
- ・急性期病院とアセスメント病院の連携による在宅療養移行体制: 個々の医療機関や科によって実施されているが、システム化はされていない。

拠点事業ロードマップ

項目	2014年												2015年				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
アセスメントシステムの拡充	候補病院への訪問 システムの見直し		新規病院でのシステム運用開始												中間検討	最終報告	
多職種連携ルールの構築	連携ルール案・ICTシステム運用方法の作成 連携ガイドブック調査票の集計・調査票の送付①HP掲載		連携ルールの検討		連携ルールの運用 ICTシステムの運用		テスト運用の中間報告		アセスメントシステムの中間検討		連携ルールの運用 ICTシステムの運用		連携ガイドブック調査票の送付②		調査票の集計・HP情報更新 報告		
病病連携による在宅導入体制の構築	候補病院への訪問		システム構築に可及した検討												テスト運用の中間報告	アセスメントシステムの中間検討	
推進協議会・作業部会の開催	第1回推進協議会		第1回作業部会		第2回作業部会		第3回作業部会		第2回推進協議会		第3回作業部会		第4回作業部会		第4回推進協議会		
地域住民への在宅医療啓発	在宅医療啓発コンテンツの検討		在宅医療啓発コンテンツの作成												在宅医療啓発コンテンツの公開		
その他	在宅医療キャンペーンの企画		キャンペーン告知		第1回キャンペーン開催		第2回在宅医療キャンペーンの企画		キャンペーン告知		第2回キャンペーン開催						
	第1回ケアマネ学習会		第2回ケアマネ学習会		第3回ケアマネ学習会		第4回ケアマネ学習会										

お問い合わせ窓口

名古屋市東区医師会 在宅医療連携拠点推進事業

担当窓口

大幸砂田橋クリニック

担当者 : 須田、陰地

電話番号 : 052-711-8883

メール : ds.clinic.306@gmail.com

住所 : 〒461-0043 名古屋市東区大幸4-18-24